

議会だより

しろたか

2020年4月15日発行
(令和2年)

Vol.146

山形県白鷹町議会
3月定例会



「未来にはばたけ 小さな翼」

愛真こども園 卒園式 19頁に関連記事

主な新規・拡充事業 ②p

すべては町民のしあわせのために 新年度予算審査 ④p

ここが聞きたい 一般質問3人の議員が町政を問う ⑫p

追跡レポート 地域づくり推進交付金 ⑱p

シリーズ企画 知れば得する“ぎかい”のキホン ⑲p

インタビュー 白鷹の未来を彩る ⑳p

お手持ちのパソコンやスマホ等
で議会中継をご覧いただけます。
録画でもご覧いただけます。



から17日までの13日間の会期で開催された。第1日に東日本大震災の黙とうを行った後、町長の施政り各会計当初予算と補正予算を予算特別委員会に付託した。第2日に一般質問を行い、3議員が経済や防た。その後、議会活性化委員会、常任委員会、予算特別委員会を開き、質疑が行われた。最終日、当初予で可決した。他に人事案件2件、条例設定等9件、町道認定2件などを審議し可決した。

延伸の実証実験 (公立置賜総合病院へ)

施策の柱 《地域力》

◇防災重点ため池ハザードマップ作成事業・・・150万円

防災重点ため池に指定している5カ所のため池のハザードマップを作成する。

◇福祉型小さな拠点づくり事業補助金・・・100万円

地域で暮らす高齢者等が気軽に集い、生きがい活動を行う居場所づくりの支援を行う。

◇検診事業・・・・・・・・・・・・・・・・3999万円

特定検診と同時に「推定食塩摂取量検査」を実施し、検査項目の充実をはかる。



施策の柱 《定住化》

◇デマンド型交通運行事業・・・1511万円

デマンド型乗合タクシーの町外延伸の実証実験を行う。

◇東根コミュニティセンター大規模改修事業

・・・・・・・・5416万円

施設の老朽化やトイレの洋式化などが課題の東根コミュニティセンターの大規模改修工事を行う。

◇子育て支援住宅設計業務・・・800万円

新しい子育て支援住宅整備に向けた設計を行う。



※万円未満は端数を調整しています。

新年度予算 可決 (全会一致)

3月 定例会

3月定例会が3月5日
方針演説、総括質疑があ
災に関して町政をただし
算案を原案通り全会一致

デマンドタクシー

主な新規・拡充事業

施策の柱 《人づくり》

◇働くパパ&ママ子育て応援事業・・・10万円

他市町の病児保育施設等利用料を補助する。 ※1日の利用料の1/2(上限1000円)

◇白鷹学講座開催支援事業・・・・・・・・100万円

自発的で多様な学びをより広く支援するため、町民が自ら
企画運営する講演会やイベント等に対して補助する。

◇英語指導助手(ALT)設置事業・・・1958万円

令和2年度からの小学校英語教科化等に対応するため
1人増やし、小学校3人中学校1人体制とする。



施策の柱 《産業・経済》

◇地域交流広場整備事業・・・4029万円

地域交流拠点となる、鮎貝地区の新商業施設に隣接する広場の整備を行う。

◇6次産業化推進事業・・・・・・・・139万円

町6次産業化推進戦略の具現化に向け市場調査や研修会を行う。

◇正社員化促進事業・・・・・・・・165万円

労働者が安心して就労できる環境整備を行う。

◇有害鳥獣対策事業・・・・・・・・270万円

電気柵設置支援拡充とイノシシの夏季捕獲等に対する支援を行う。



しあわせのために

新年度予算総額135億6314万円（前年度比9.4%減）



花咲け 共創のまちづくり

総括質疑 ― 施政の方針を問う ―

第6次総合計画に むけて

小口尚司議員

施策の評価は

〔問〕 第5次総合計画

の10年をどのように総括し評価しているのか

〔町長〕 各分野に一定の効果が見られてきた。人口減少には全庁横断的な施策を行ってきたが、残念ながら歯止めがかかっていない状況と認識している。

計画の特徴は

〔問〕 第6次総合計画

にどのような特徴を持たせたのか。

〔町長〕 地域資源を生かし、相互補完し連携するまちづくりをコンパクト・プラス・ネットワークと位置づけ、「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」の4つの分野を施策の柱としている。急速な人口減少に対応するため

住環境の整備等による白鷹版「職住育近接」を表現することで、20代から30代の子育て世代の転出抑制と移住促進をはかり、定住人口を確保したい。

今後のかじ取り役は

〔問〕 10月に町長の任期が満了。今後は。

〔町長〕 町民の皆様への幸の向上のため、次期も取り組ませていただきますと思っています。

共創のまちづくり

関千鶴子議員

合意形成は

〔問〕 鮎貝地区地域交流商業施設や白鷹の塔

「雄飛」の処分に関して、合意形成はあったのか。

〔町長〕 商業施設に関しては鮎貝地区から要望を受け、相当時間をかけて話し合い、その上で判断をした。白鷹の塔については



功績を讃えて

熟考の末、危険回避を判断し、町民の代表である議員の方々に歴史を刻印し展示する旨、ご報告申し上げた。また、町民の皆様からの意見はまちづくり座談会やパブリックコメントなどでいただいた。

商業への取り組みは

〔問〕 当町の商業は、人口減少等により厳しい

状況だが、取り組みは。〔町長〕 暖冬少雪の影響等も含め、様々な支援をする。事業継続のためにも、町による無利子の融資を早急に進めたい。

令和2年度 当初予算

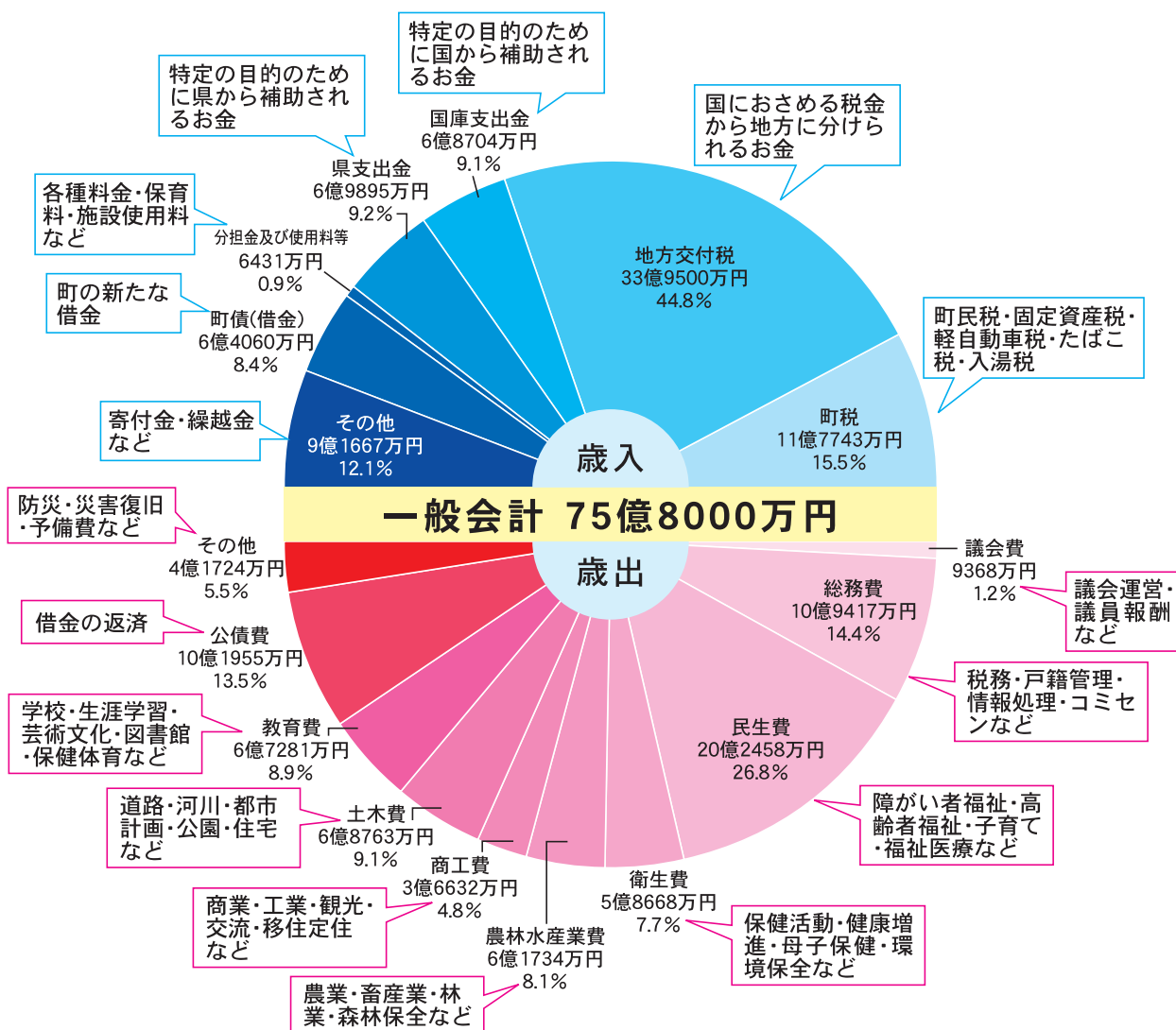
すべては町民の



みどりの町を子どもたちに託して

| 新年度当初予算額 | | | |
|----------|-----------|----------------------------------|----------|
| 会計項目 | 予算額 | | |
| 一般会計 | 75億8000万円 | | |
| 特別会計 | 十王財産区 | 42万円 | |
| | 下水道 | 4億8297万円 | |
| | 国民健康保険 | 15億2785万円 | |
| | 農業集落排水 | 1億7146万円 | |
| | 介護保険 | 18億1982万円 | |
| | 後期高齢者医療 | 1億4739万円 | |
| 事業会計 | 水道 | 収益的支出 2億9542万円 資本的支出 2億3195万円 | |
| | 病院 | 収益的支出 | 12億174万円 |
| | | 資本的支出 | 1億412万円 |
| | 合計 | 135億6314万円 | |

※万円未満は端数を調整しています。





予算特別
委員会

質疑161問・6時間58分

委員長 奥山勝吉
副委員長 関千鶴子

予算特別委員会とは：当局から提案された予算が、有効に使われようとしているか審査を行います。一般会計のほか、6つの特別会計と2つの事業会計があります。3月12日と13日の2日間にわたり、令和2年度当初予算について審査しました。

歳入
(町の収入)

質疑

不安定な社会情勢、
どうなる税収

菅原委員 暖冬少雪、町内商業施設閉鎖、新型コロナウイルス等は、税収にどのような影響を及ぼすと考えているか。

当局 経済活動に連動する法人町民税や入湯税には、大きな影響が出るかと推測する。また、この状況が続けば、個人町民税の収納への影響が懸念される。新型コロナウイルス等は、予算編成段階で予測がつかず当初予算には加

味されていないが、今後対応が生じると思われる。
国県の情報や対策等を視野にいれ、町内経済状況を把握しながら、緊張感を持ち対応する。

生かせ森林環境与
税

小口委員 この税金は、森林地帯を保有しない自治体にも配分されるが、連携する他自治体の森林整備のため活用する、ともされている。取り組みは。

当局 人口割がベースのため、首都圏への配分額は大きい。連携している三鷹市には、この税金を活用し、市の公共施設等に町産材を使ってもらえるよう取り組んでいく。

歳出
(町の支出)

質疑

総務費

公用車の備品は何か

横山委員 車両購入と併せて一般備品が計上されている。何を購入予定か。

当局 ドライブレコーダーを購入する。現在は35台が未設置であり、今後3年間で全車両に配備する予定。

区長等に対する町長の
思いを

金田委員 区長の立場について、12月定例会で条例を制定した。

改めて町長の思いを伺う。

当局 条例制定により地位を明確にした。地域内での重要な役割があり、期待する。

山形鉄道への財政支援は

金田委員 フラワー長井線に対する、これまでの負担額は。

当局 現在の沿線市町・県の年間負担額は8400万円で、これまでの累計は、45億9000万円である。本町の現在の負担割合は

16%で、年間1344万円である。

実証実験に期待

丸川委員 デマンドタクシーの置賜総合病院への実証実験の期間は。また、実験の考察と公開は。

当局 期間は6カ月程度と考え、町、国、道路管理者、地域住民等で組織する、地域公共交通会議で検証し、町報等で知らせる。
菅原委員 通院費、交通費、送迎費は医療費控除の対象だが、領



みんなで使おう長井線



にぎわう東根コミセン

収書の発行は可能か。

当局 現在も、利用者の求めがあれば領収書を発行している。町外延伸分も、求めがあれば発行する。

東根コミセン大規模改修

山田委員 現在の東根コミセンとサッカー場の共用状況は。サッカー大会時に休憩できる場所の整備は考えているか。

当局 外トイレの他、大規模大会時はコミセン施設を借りることもある。地元では、将来的にはカフェ等の考えもあるが、具体的にはまだである。

防犯灯で安全対策

竹田委員 防犯灯新設は何か。どういう要望があり、どう対応していくのか。

当局 今年度は10灯。次年度は、要望に合わせて新設と修繕を予定している。要望には、設置基準に照らし合わせたり、通学路安全点検を行い対応している。

民生費

住民主体の福祉拠点

丸川委員 福祉型小さな拠点づくり事業とは、どのようなものに支援するのか。

当局 地域住民が主体となり運営する高齢者の生活支援、介護予防のための拠点づくりに支援するもの。現在鮎貝に1カ所あり、来年度取り組みたいと考えている団体からも相談を受けている。

横山委員 運営団体の組織づくりや、人材育成に向けた支援はあるか。

当局 県主催の関連講座を受講いただいている。また、フォーラム開催や研修会を行っており、町民の皆様へ声をかけながら人材育成を進めたい。

病児保育の負担軽減

横山委員 働くパパ＆ママ子育て応援事業は、病児保育施設等の利用料の一部支援と理解している。これまでの経緯は。

当局 限られた条件の中で、病児保育に関して何ができるか検討してきた。他市町の病児保育施設を利用してある状況もあり、経済的負担軽減を目的に実施する。

衛生費

塩分取りすぎ注意

丸川委員 推定食塩摂取量検査の内容と、検査導入の背景は。

当局 健康診断の尿検査に併せて行うもので、一日の食塩摂取量がわかるもの。当町の健康の課題として、高血圧症の方が長年たくさんいるため。

視力等の検査体制は

横山委員 3歳児健診の視力と聴力の1次検査は家庭で実施するため、見逃しが生じる懸念がある。工夫はあるか。

当局 分かりやすい説明文を付けるほか、2次検査では保健師が検査状況等の聞き取りを行い、状況により改めて検査を行う。後で不安が生じないように進めたい。

不法投棄対策の充実

金田委員 近年の不法投棄の処理数量、種類、傾向は。

当局 平成30年度は960kg、31年度は910kg。主なものは、弁当、お菓子類、飲み物類、タイヤ、家電製品等で、農免道路などの山間部に多く、同じ場所に捨てられる傾向がある。

不法投棄はダメ！



なくそう食品ロス

丸川委員 全国的に食品ロス等ごみ問題が叫ばれる中、町民へのごみの排出量削減に対する、啓発の考え方は。

当局 ごみの減量、リサイクルの推進、適

正処理の3本柱で取り組み、それらを広報やホームページ、あるいは各種団体の会合に伺い周知する。



農林水産業費

6次産業化は大事、具体的な展開を

金田委員 具体的に、どのような事業を計画しているのか。

当局 産業戦略会議が事業実施主体となり、市場調査、商品開発等を行い、経費の2分の1を補助する。

金田委員 戦略会議の構成団体それぞれの役割分担があると思うが。

当局 関係団体と連携し、産業戦略会議内

歳出 (町の支出)

質疑

に、6次産業化戦略検討会を設置。お互いの情報共有をはかり、進めていく。

園芸作物どう進める

金田委員 園芸振興拡大事業で、数年前から実施しているが、成果は。

当局 平成20年度から実施している。累計で、苗木購入が約2400本、苗木育成が約1万8000本等、着実に成果が見られる。

金田委員 年間予算が20万円であり、園芸

振興をはかるには少ない。事業内容見直しも含め、大幅な予算確保等について考えは。

当局 園芸は、何が売れるか、市場把握や戦略が必要である。JAが主体的に取り組み、成果につながっている。今後、関係機関と連携し、戦略を練り上げて対応を検討する。

農業の担い手支援と指導体制の充実を

金田委員 新規就農者の就業計画の達成状況は。

当局 新規就農者は、一生懸命取り組んでいるが、近年の天候不順や市場価格の変動などで、大部分が計画値に達していない。

金田委員 新規就農者への支援、指導体制やその内容は。

当局 サポートチームを作り、現地確認や経営指導をしている。

首都圏で町産材活用

菅原委員 施政方針に首都圏での町産材利用とあるが、具体的な方策は。

当局 三鷹市や海老名市など縁ある自治体に出向き、公共施設への町産木材の活用など販路拡大や活用ができないか模索している。

イノシシ等被害への対応は

横山委員 有害鳥獣対策はどのような内容か。

当局 イノシシの夏季捕獲、電気柵、狩猟免許取得、くくりわな購入等の補助を行う。来年度は、自家用農家にも電気柵への補助を行う。

横山委員 町内団体が開催した研修会で、多くの学びがあった。どのように活かすか。

当局 研修では、環

境整備の大切さが説かれた。集落単位での協力が必要であり、その取り組みには補助事業等で対応したい。中山地区でモデル事業を行う予定。

学校給食に町内産農産物の使用促進を

小口委員 学校給食民間委託前後の地産地消の数値は。

当局 平成27年度は40・8%、28年度は35・4%で、目標値は達成している。品目は、27年度は33品目、28年度は35品目であり、民間になっても、若干の減はあるが、目標値は達成している。

小口委員 白光園など調理が委託となった町内産を使ってもらうよう、協力の働きかけを。

当局 町内産を使っていた、大きく働きかけた。

ため池ハザードマップ

菅原委員 防災重点ため池の5カ所とは。マップ作成後に行う地域住民への周知徹底と自主防災組織との連携は。

当局 鮎貝の中丸ため池、滝野の細野沼と新細野沼、萩野の御影沼、中山の原虚空蔵ため池である。周知は、マップの作成時にワークショップを開催し、情報共有していく。また、町のホームページのほか、住民説明会を開催する。さらに、災害想定訓練を自主防災組織と合同で行う。

林道整備の状況は

菅原委員 林道工事にかかる進捗状況は。

当局 白鷹東部線は、三ツ滝に流れる沢に構造物を設置したが、冬期間に入り中止している。4月以降、順次工

運営方法見直しへ

丸川委員 ふるさと応援事業の寄付額が12月で増加した中で、事務委託を直営にする理由は。

当局 平成29年度から商工会に委託してきたが、総務省の基準により返礼率を減らした経過も含め、委託当初と比べ寄付金額と件数が大幅に減っている。

商工費

事が再開する。併せて延長開設工事も順次行われる。令和5年度に向け、路線延長を引き続き要望する。



中丸ため池の現状

一度直営に戻し、再構築したい。

町内企業紹介を拡充

【菅原委員】 町内企業の紹介を強化する具体

策は。県外に住む町内出身の若者への周知は。【当局】 町内企業を紹介するガイドブックを作成する。県外への情報発信は県が運営する情報サイトへの登録や成人式での企業紹介、作成するガイドブックを町や商工会のホームページへの掲載を考えている。



もどれ、漁獲量

ブラックバス対策を

【横山委員】 鮎漁獲量の推移と、漁獲量拡大

事業の内容は。【当局】 平成20年は、

ヤナ場にかかった鮎は約2万8千匹だったが、30年は約1千匹だった。ブラックバスによる被害も大きいことから、駆除・削減目的に釣り大会を開催する。ブラックバスの生息数調査などは、継続が必要と思う。

町産材活用は進んでいるか

【山田委員】 町産材等

木造建築推進事業の経

済効果は。また木材乾燥の状況は。【当局】 1月末現在39

件の申請、うち町産材活用は14件。工事請負としては、2億9400万円ほどの経済効果があった。

今年度、大型公共施設分の乾燥は終了したようであり、次年度は、民間分を確保できるのではないか。

土木費

治水対策はどうする

【丸川委員】 町が管理

する河川の防災、減災につながる治水対策全般について、考え方は。【当局】 災害復旧で取り組んできたが、未着手の箇所については区

からの要望もある。倒木処理や土砂のしゅんせつについては、令和2年度から国の新事業があり、活用できないか検討する。

土地が探せないのでは

【菅原委員】 家を建て

たい若者たちが土地を探せない現状があるのではないか。対策は。【当局】 個人の土地を

探して家を建てたい方への支援などを考えていきたい。

教育費

給食費を含めた保護者負担の軽減を

【金田委員】 給食費の

推移は。【当局】 小学校260

円、中学校304円で、20年ほど値上げしていない。【金田委員】 現在及び

将来の不安定要素が危惧される。野菜等の食材が高騰した場合の対策は。【当局】 今後の社会情

勢を注視していく。給食についても、安全安心の給食を提供できる

よう頑張っていく。

紅花教育の充実を

【金田委員】 紅花教育

の今までの評価は。【当局】 地域の伝統文

化を学ぶ、ふるさと学習の効果がある。給食に若菜、紅花の乱花を使い、食育にもつながっている。

【金田委員】 学校と地

域のつながりは大事。さらに充実していくため、事業費を増やしてもよいのでは。【当局】 堆肥の支援、

摘み取り協力等、地域の関係者の協力を得て実施している。予算化の必要も出てくれば検討する。

貴重な龍門図書

【横山委員】 ※龍門図

書館の管理方針と実情は。【当局】 管理会に清掃

や除雪などを委託している。カビ対策、管理活用を考える必要がある。



日本の紅（あか）の原点

り、管理方法は瑞龍院と相談しながら検討したい。山形大学の調査から貴重な本があることが分かりつつあり、カビ除去視点での実験も行った。

【横山委員】 貴重な蔵

書があれば指定文化財への意向はあるか。【当局】 蔵書について

は、専門家により評価が異なる。まずは保存に取り組みたい。

※龍門図書館（ずいりゅうもんずいりゅういん）瑞龍院（蚕桑地区）から寄贈された蔵書を保管している図書館。瑞龍院内にある。

好きになる英語教育を

【笹原委員】 英語の検定プログラムの対象学年と内容は。

【当局】 小学6年生から中学2年生までを対象。

内容は、読む・聞く・書く・話すというバランスのとれた英語力を診断・評価でき、目標を設定できるといふもの。

【笹原委員】 今年から本格的に、5、6年生の英語が教科化され成績が付く。嫌いにならないための工夫は。

【当局】 5、6年生は70時間英語に触れたり、英語を使ったコミュニケーションを楽しみながら行い、より身近に英語を感じられるようにする。

担任、ALT、そして英語活動推進員、教育委員会です。楽しい英語の授業が実践できるように頑張っていきたい。

町駅伝コースの変更は

【竹田委員】 新庁舎が完成し、スタート・ゴール地点が役場前に戻るが、併せてコース変更はあるのか。町駅伝は地域づくりも担うが、各チームへの意見聴取は。

【当局】 コース見直しは最小限にとどめたい。競技団体と打ち合わせ等を行っており、各地区体育振興会に意見を聴く機会を設け、来年度早々に周知したい。

デジタル教科書

【丸川委員】 デジタル教科書とは。また、導入する教科と効果は。

【当局】 パソコンに取り込んで、映像を電子黒板にプロジェクターで映すもの。国語、算数、理科、社会に利用し、子どもたちの興味を引き付け、直接体験できなくても映像で学べる。

消防費

有蓋化の基準は

【丸川委員】 防火水槽の有蓋化は毎年1基ずつのようであるが、どのような基準に基づいて順番を決めているのか。

【当局】 有蓋化を進めていきたいが、1基1千万円を超えるものである。水利状況、消火栓の配備等を勘案し、白鷹分署と相談して決定している。

特別会計

国民健康保険

基金の適正運用を

【横山委員】 基金の残高予測額は。残高はどの程度確保すべきか。

【当局】 残高予測は1億1千万円ほど。予算が不足することも考えられるため、1億円に近い額を確保したい。

億1千万円ほど。予算が不足することも考えられるため、1億円に近い額を確保したい。

【横山委員】 新年度予算では基金から8千万円を支出する計画であり、令和2年度の基金残高は差し引き3千万円。今の税率では基金維持が困難になるので、今後の基金の歳入歳出計画は。

【当局】 税率改正の検討時期と考えている。来年度から検討を始めたが、被保険者のご理解ご協力が不可欠であることから、時間をいただきたい。

介護保険

男性の健康教室参加

【笹原委員】 元氣わくわく教室への男性登録数は。今後、増やすための工夫は。

【当局】 体験会に約50人が参加したが、現在の登録数は14人。機会あるごとに周知していく。介護予防教室に参加されている奥様からも、声掛けをしていただくといい。



介護予防が大切

【竹田委員】 生活支援コーディネーターの役割は。地域包括支援センターのバックアップ体制は。

【当局】 高齢者の生活支援や介護予防を進めるために、関係機関と連携調整し、体制整備を推進する役割。地域包括支援センターに所属しており、地域包括ケアシステムを進化させるため、一緒に取り組んでいく。

賛成討論

一般会計予算に対する 賛成討論

笹原 俊一 議員
公債費や社会保障関係経費等の増に加え、引き続き人口減少対策等の歳出も見込まれることから、より一層、計画的な財政運営が必要となる。

第6次総合計画のスタートの年にあたり、「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」の4つの分野を施策の柱に、着実に町政を進めるとしている。

町誕生から65年、少子高齢化や人口減少の波は大きく、自然災害も年々懸念される昨今、迅速かつ確実な事業の遂行により、町民の福祉の増進、利益につながるよう期待し、賛成討論とする。

※反対討論はありませんでした。

補正
予算

緊急経済対策 利子全額支給

質疑

補正への要請は

委員 エコープしらたか閉店で、町内取引業者への影響がある。利子補給の補正に対し、JAや商工会から要請があったのか。

当局 制度を立案した段階ではなかった。

委員 制度の周知方法は、

当局 直ちに商工会、

質疑

金融機関に説明する。金融機関は、消費意欲の倦怠感を心配している。県の制度も出ており、整理しながら、事業者の意欲が減退しないよう取り組む。

りんご黒星病における連携は

委員 黒星病は恐ろしい病気。補正額が少ないが状況は。また、関係団体との連携は。

当局 西置賜管内でも本町が最も多い。今回は、高岡、箕和田の2地区分のため補正額は少ない。関係機関と調整し、取りまとめをしている。

委員 関係団体と協力しながら、撲滅に向けた取り組みを進めていただきたい。

当局 暖冬少雪の影響で、病気の胞子の飛散が早まる恐れがあるた

め、防除も早まる可能性がある。情報共有と被害防止に努める。



守ろう白鷹産りんご

一般会計補正予算の主なもの

- りんご黒星病緊急特別対策事業** 2万円
防除費用の助成を行うもの。
- 保育園運営委託料(町外施設含み)** 1215万円
実績及び保育単価の改定等による調整。
- 担い手確保・経営強化支援事業** 3405万円
農業用機械等の導入支援。
- しらたか若者移住定住支援交付金** 285万円
事業実績見込み等による追加計上。
- 消防団活性化事業** 90万円
消防団活動に必要な救命胴衣の整備。
- 鮎貝小学校プール改修事業** 154万円
実施設計を行うもの。
- スキー場運営事業費** △505万円
少雪の影響による実績見込み等による調整。

など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。

【債務負担行為の補正】

白鷹町地域経済変動対策利子補給 2000万円
新型コロナウイルスや暖冬少雪等の影響による地域経済の変動に対応するための緊急的な金融対策。中小企業者の経営安定のため、利子の補給を行う。

※債務負担行為とは：予算は単一年度で完結するのが原則だが、事業が単年度で終了せず後年度も支出しなければならない場合、あらかじめ後年度分の支出を予定することを決めておくもの。

| 令和元年度補正予算総括表 | | | |
|--------------|----------|-----------|-----------|
| 会計項目 | 補正額 | 補正後の額 | |
| 一般会計 | 1億7769万円 | 94億6881万円 | |
| 特別会計 | 下水道 | △3475万円 | 5億8253万円 |
| | 国民健康保険 | △4917万円 | 15億448万円 |
| | 農業集落排水 | △2553万円 | 1億5068万円 |
| | 介護保険 | △4330万円 | 17億7737万円 |
| | 後期高齢者医療 | 1187万円 | 1億5070万円 |

※万円未満は端数を調整しています。



録画を配信

エコープしらたか閉店の影響は

町長 計り知れない影響があると認識している



金田 悟 議員

町への説明・報告は

問 閉店に至る経過説明・報告はいつ、どのようなものであったのか。

町長 1月7日、JAS（※）役員から担当課長に、3月10日をもって閉店する旨の第一報があった。12月27日JAS取締役会、JA山形おきたま理事会で、組織決定されており、町へは事後報告という形であった。その後、2月に入り白鷹地区理事等、JAの組合員向け説明会後にJA組合長、JAS社長が来庁され、閉店の判

町民への影響は

問 閉店により、どのような影響が考えられるのか。

町長 町のみならず、町民の皆様にも大きな影響があることは容易に想像できる。特に、荒砥地区の暮らしの環境という面で見ると、近隣にお住まいの方々の買い物困難になること、地元で生

断に至るまでの経過の説明、閉店への思い、報告が遅れたことへの陳謝があった。このように、1月7日まで一切の連絡や相談がなかった。

産される豆腐や納豆、食料品など町内11業者及び関連業者の取引が打ち切られ、販路も失うことから大きな損失であり、その影響も計り知れないものであると認識している。また、町中心部に空白地帯が生じ得ることから本町自体のイメージにも影響を与えており、本町の先行きを案じ、不安を募らせている。

JAとの信頼関係は

問 農業振興を中心としたJAとの信頼関係は。

農工観光課長 JAとまでは、今日まで農業振興を中心に、取り組んできた。今後この関係性は続けていく必要がある。しかし、お互いの信頼関係が重要である中で、このような事態が起きたことも事実であり、慎重にならざるを得ない面もある。

町長 産業の基盤は農業であり、こういう結果となったとしても、町民及びJAの組合員の皆さんは変わるわけではない。農業振興を推進していくため、信頼関係を構築していくことが必要であると考えている。

農林課長 営農活動に関して、報告・連絡・相談を強化し、力を合わせ取り

組んでいきたい。

今後の対策は

問 今後、考えられる対策はどのようなことがあるか。

町長 事前の相談もなかったため、対応に苦慮している現状である。荒砥の中心部に空白地が生じることは非常に残念なことであり、地権者及び関係団体とも連携をはかりながら少しでも、町民の皆様

の不安を払拭し、安心して暮らせる環境整備に向け検討していきたい。

（※）JAS：株式会社JAサービスおきたまの愛称

JA山形おきたまが100%出資の子会社である。エコープしらたかは、旧白鷹町農協が100%出資し設立した子会社。平成25年JASに統合し、石油類、自動車、LPG、葬祭、店舗の事業を展開している。エコープしらたかは、JASの店舗部門である。



残念・・・



録画を配信

自然災害への備えは十分か

町長 地域で支え合う体制の構築が何よりも重要

災害備蓄品

問

備蓄品や備蓄計画はどのようなものか。

町長

自主防災組織を通じて、各コミセンにアルファ米などの食料、飲料水、毛布を備蓄している。簡易トイレ、簡易壁、暖房器具等の物資を役場敷地内の町防災倉庫に備蓄しているほか、不足に備え民間業者や自治体等と災害応援協定を締結している。

問

各コミセンに備蓄保管庫を設けては。

昨年10月の避難準備情報発令時に、避難所は適切に運営されたか。

町長

防災計画に示された役割分担

総務課長

交付金などを活用し設置していただきたい。

臨時のヘリポート

問

臨時ヘリポートの状況は。

総務課長

健康福祉課前の広場、スポーツ公園駐車場、スキー場の広場の3カ所がある。冬期間も除雪し確保している。

避難所運営は

問

昨年10月の避難準備情報発令時に、避難所は適切に運営されたか。



横山和浩議員

は明確ではない部分があり、運営上の課題があるため、今後は避難所運営マニュアル策定ほか体制整備の強化をはかりたい。

問

マンパワー不足への対応は。

町長

人口減少や少子高齢化に対応すべく、より効率的な活動を行えるよう見直しを検討する。その一方で、地域で支え合う体制の構築が何よりも重要と考えており、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

避難所の施設は

問

避難所の維持修繕方針は。

町長

地区コミセンの大規模改修は、経年劣化度合いや整備年度などから総合的に判断し、計画的に実施している。令和2年度は東根地区コミセンの大規模改修工事を予定している。

問

Wi-Fiを避難所に。

町長

観光拠点等に整備を続けているが、小学校やコミセンは公共性が高い施設であり、セキュリティ確保も重要な課題であることから、関係者と協議しながら慎重に検討したい。

防災情報の伝達は

問

防災ラジオの導入予定は。

町長

屋外拡声機は聞き取りにくいとのこと意見をこれまでも頂戴しており、テレ



フォンサービスなど代替手段と共に情報提供している。携帯電話などをお持ちでない方には、防災ラジオや個別受信機の導入も選択肢の一つとして捉え、国等へ支援をお願いしているが、全国から要望があり白鷹町がいつ該当するか分からない状況。

大震災以降はテレビ放映の災害情報も充実しており、より実用的で実効性のある手法を研究しつつ、情報通信体制の強化をはかりたい。

白鷹町郷土資料館整備構想の周知を

町長 周知はタイミングをはかりながら検討



録画を配信

白鷹町郷土資料館整備構想の策定経過

問 構想の策定経過と、旧中山小学校体育館の活用を検討状況は。

町長 昭和55年に町立資料館計画案が策定されて以来、郷土資料館の整備は長年の課題だった。平成29年から、旧中山小学校体育館に保管された民具等の調査・整理・活用について、また、旧十王地区コミュニティセンターも保管施設の候補のひとつとして、整備構想案の検討を開始した。



関千鶴子議員

体育館の具体的な活用は、中山地区の要望を伺いながら検討する。

文化財保護審議会での意見は

問 文化財保護審議会での、場所・面積・運営・活用等に対する意見は。

教育次長 主な意見として、「場所としては狭いのは」「展示スペースが確保できるのか」「駐車場はどうか」など。運営については、「施設の目玉は何か」「観光に繋がらないか」「資料館で見てもらうだけでなく出張展示やワー

クショップなども」「運営には資格を持った専門職員の配置を」「直営ですべきではないか」など。他に温湿度管理、紫外線の管理をしてほしいなどの意見があった。

ランニングコストは

問 ランニングコストへの考え方は。

教育次長 資料館単体だけでなく、他施設と連携し相乗効果を狙うのが大事。運営方法は今後、組織を立ち上げ検討する。

ランニングコストは、旧十王コミュニティセンターに700万から800万円ぐらい。加えて、資料保管庫の管理経費がある。

収益が上がる施設ではないと思う。維持経費は一般財源からとなった場合の財源に関しての考え方は。

町長 収益が上がる施設ではないと思う。維持経費は一般財源からとなった場合の財源に関しての考え方は。

町長 収蔵する場所が無いなかで、経費、投資を少なくし、将来にわたりメンテナンスも考えながら取り組んでいく。

周知をどうする

問 財政的な面や町民の方のご協力を想定すると、周知が大事と思うが。

町長 ある程度の理解はされている。地方創生拠点整備交付金が

採択されれば、直ちに事業に着手していきたい。

構想を周知する時期ではないということか。今回の構想案を、町民の方へ周知してはどうか。

町長 補正予算が確定してない時期では、周知できる状況ではないが、タイミングをはかりながら考える。



歴史を刻む民具、いよいよ表舞台へ

条例

- 白鷹町障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例の設定
障がいの差別の解消を推進し、共生社会の実現を目指すため設定するもの。
- 白鷹町地域交流施設の設置及び管理に関する条例の設定
地域交流施設の設置及び管理に関する事項を定めるため設定するもの。
- 白鷹町国民健康保険税条例の一部改正
国民健康保険税の減免規定の追加等を行うため改正するもの。
- 白鷹町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
幼児保育の無償化に伴い、食事の提供に要する費用の範囲等を改定するもの。
- 白鷹町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
放課後児童支援員の経過措置期間を改定するもの。
- 白鷹町介護保険条例の一部改正
消費税率引き上げにより、減免規定を改定するもの。

ほか 3 件

町道認定・廃止

●高玉地内の町道認定

集落内の安全確保のため町道に認定するもの。地元から請願が出ており、6月定例会において請願採択した案件。

議会だより143号に関連記事あり

| 路線名 | 起点 | 終点 |
|---------|--------------|--------------|
| 薬師堂檀之前線 | 高玉字薬師堂3666-2 | 高玉字檀之前2841-3 |

●萩野地内の町道認定・廃止

県営萩野地区耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業の完了により、町道路線の起点が変更となるため、路線の認定・廃止をするもの。

| 路線名 | 変更後の起点 | 終点 |
|-------|------------|--------------|
| 萩野高野線 | 萩野字高野前3661 | 萩野字山山下1615-3 |
| 寺南線 | 萩野字沖四256-2 | 萩野字南三2261-3 |

人事

●人権擁護委員

白鷹町大字十王2931番地
鈴木和夫氏

白鷹町大字広野3098番地
向田美和子氏

任期満了に伴い、引き続き候補者として推薦するに適任であると決するもの。

第1回臨時議会 1月15日

◎白鷹町まちづくり複合施設等整備工事請負契約の一部変更

工事の結果、設計の一部を変更して実施する必要があるため契約金額を変更するもの。

| 変更前 | 変更後 |
|--------------|---------------|
| 27億542万5240円 | 27億1970万1040円 |

エアカーテンの追加設置、屋外防犯カメラ追加設置、労務単価の変動への対応等。

総務厚生常任委員会

町民の生命と財産を守るために

3月10日に委員会が開催され、白鷹町国土強靱化計画の策定について説明を受けた。

【計画の趣旨】

今後想定される大規模自然災害から町民の生命と財産を守り、持続的な成長を実現し「強靱なまちづくり」を推進するため計画を策定する。

質疑

社会経済システムの強靱化とは

【委員】どのような災害が起こっても、経済が停滞しないようにする施策も計画の中に入るのか。

【当局】経済流通が滞らないような施策をあらかじめ講じておくという計画。国、県、町それぞれ役割があり、災害対応は単独ではやれ



ず、連携が重要。最上

川の堤防が破れた場合の交通の確保をどうしていくかなど、町の計画として策定する。

【委員】避難指示や勧告に対し住民意識がまだ徹底されていない。徹底しないと大災害時に影響が出るのでは。

【当局】避難勧告、避難

指示は、相当慎重にならないと得ない。自主防災組織や消防団の力をお借りしながら、決断は重いですが、町民の生命財産を守るため取り組んでいく。

学校魅力化へ英知を結集

荒砥高等学校の状況について説明を受けた。

【経過】

「荒砥高校をサポートする会」を中心に支援してきたが、4月より1学級減となる。県は新たに再編整備基準を公表した。

1学年1学級の学校は、魅力的な学校づくりや活性化策等を学校や町等で構成する地域連携協議会で検討し、3年間実施する。

質疑

地域連携協議会の内容とは

【委員】協議会を設置し3年間をめどに実施とのこと。定員に満たなくても3年間継続か。

【当局】3年間は積極的に取り組んでもらいたいとのこと。その後2年間、定員の2分の1

未満の場合は協議となる。5年間は継続できると捉えている。

【委員】具体的に学校の中身に踏み込んだ協議ができるのか。

【当局】サポートする会の延長でよいのではとのこと。県の設置要綱が出た段階で検討していく。

【委員】協議会はいつ立ち上げか。

【当局】県からの設置要綱の通知を受けてから設置となるが、サポートする会が中心になるかと思う。

会として様々な支援をしてきたが、県立だから支援が難しいということではなく、逆にこちらが支援する方法を見出せなかったと認識している。子どもも増



存続に向けて

えている状況ではなく、他の高校も定員割れをしている。人数は増える要素がないことを踏まえた対応をする必要があるのではないか。一緒に方向性を見出していきたい。

その他
○固定資産税・都市計画税の課税誤り
○第2期白鷹町子ども・子育て支援事業計画
○総合型地域スポーツクラブRO*KUの見直し
などについて説明があった。

生まれ変わった観光協会に期待する

3月11日に委員会が開催され、白鷹町観光協会の法人化について説明を受けた。

【経過】

令和元年度総会において、法人化に向けた検討を行う旨決議した。法人化検討委員会を8回、理事会を4回開催し、検討を重ね、一般社団法人白鷹町観光協会を設立する組織決定を行い、設立登記が完了した。

【設立趣旨】

白鷹町の自然、歴史、文化を広く紹介し、観光客の誘致に努め、四季折々の伝統祭事や各種行事の実施及び協賛を通じ、地域の賑わいづくり、地域経済の持続的発展を目指す。更に、地域の観光・交流の活性化に寄与することを目的とする。

◆名称

一般社団法人白鷹町観光協会

◆会長

小関吉郎氏

◆副会長

佐藤哲夫氏

質疑

メリット

委員 法人化による町のメリットは。

当局 法人格を有したということ、一般社団法人としての法の縛りもあり、運営責任は理事会にあることなどが明確になり、それこそが組織の強化、信頼度の高まりだと承知している。

旅行サービス手配業など法人格を有することで開始できる業務が出てくるなど、今後は、協会独自の事業の中で、

誘客促進や外貨取得などに取り組んでいただけると町として期待している。

また、町の職員を出向という形で派遣することができるようになり、相当のメリットがあると認識している。

また、町の職員を出向という形で派遣することができるようになり、相当のメリットがあると認識している。



増やせ観光資源

安心して住める住宅の環境整備を

白鷹町住宅整備基本構想の策定について説明を受けた。

【基本構想と今後の取り組みについて】

急激な人口減少、少子高齢化の急速な社会情勢の変化を踏まえ、第6次白鷹町総合計画、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を目指す新たな都市計画マスタープランと同じ視点のもと取りまとめ、人口減少抑制対策として、子育て支援住宅4棟の整備に早期に取り組みたい。

委員 川西地区にアパートそのものがない。整備バランスが良くないのでは。

当局 川東地区は民間の投資が多く、川西地区は少ない。町営住宅は西側と考えており、町が所有している土地を有効に活用したい。

委員 高齢者の住宅支援について、例えば冬期間だけ移ってもらうこともあると思うが、考えはどうか。

当局 高齢者は除雪等、苦勞があることは認識している。支援の有り方を検討していく。

質疑

将来の住宅施策は

委員 アンケートでは家賃が高いという回答、これらを踏まえた構想か。

当局 民間住宅を使用した場合の家賃支援などの検討が必要である。



その他
○稲わら被害の対応状況
○白鷹町都市計画マスタープランの策定
○町道路線の認定及び廃止などについて説明があった。

追跡レポート(地域づくり推進交付金編)



新たに創設された「地域づくり推進交付金(※)」は、対象事業が多岐にわたり、地区では戸惑いがある。
(H30.6議会)

答弁

必要に応じて地域づくり事業に関する情報交換や研修の場などを作り、地域の活性化に向け支援を行っていく。

※地域づくり推進交付金：用途を限定しない自由度の高い交付金で各地域協議会の申請に基づき交付されている。

どうなった

地域づくり推進交付金は、制度開始から2年目を迎えたこともあり、各地域ともこの交付金を有効に活用いただき、伝統芸能の継承や観光・交流を促進する取り組みのほか、道路・水路の維持作業など、地域課題の解決や地域資源を活かした特色ある取り組みが、数多く行われております。また、コミュニティセンター連絡協議会やセンター長会等において、地域づくり推進交付金に関する情報交換を定期的に行っております。

人口減少・少子高齢化の時代を迎え、地域活力の低下が懸念される中、伝統文化の継承や景観・環境美化、防災・地域の見守りなど地域課題は多岐にわたり、これらの課題を解決するには、地域の絆の再生や地域コミュニティの活性化をはかる必要があります。

今後も、コミュニティセンターが地域の核となり、地域コミュニティの活性化のみならず、住民の負担軽減につながる取り組みを積極的に行えるよう支援を継続していきたいと考えております。【企画政策課】



地区民の能動的な発想を促し、オンリーワンの事業展開ができるよう、今後も引き続きのサポートを期待する。

ご意見ありがとうございました。

議会だよりアンケート結果

皆様からいただいた貴重なご意見やご感想を参考に、今後も議会を身近に感じていただける紙面づくりに努めてまいります。

◆回答数…36

◆性別…男21・女10(無回答5)

◆年齢…

10代0・20代0・30代0・40代1
50代5・60代9・70代10・80代以上11

◆質問

◆毎号みていただいていますか

1 見ている…28

2 時々見ている…7

3 見ていない…1

◆見やすい、読みやすいと思う紙面は

1 写真や色使いが良い…11

2 見出しで内容がわかる…14

3 文章がわかりやすい…15

4 議会のことわかる…17

5 その他…5

◆見にくい、読みにくいと思う紙面は

1 言葉が専門的…14

2 色が多く目が疲れる…4

3 文章が長い、わかりづらい…7

4 内容が面白くない…8

5 その他…6

知れば得する “ぎかい” のキホン

第4回 町議会の委員会構成（1）

町政は範囲が広く内容も複雑なため、本会議の予備的な審査をしたり、重要な事柄について調査したりするため、いくつかの委員会を設けています。

委員会には「常任委員会」「議会運営委員会」「特別委員会」があります。今回は常任委員会についてです。

●常任委員会

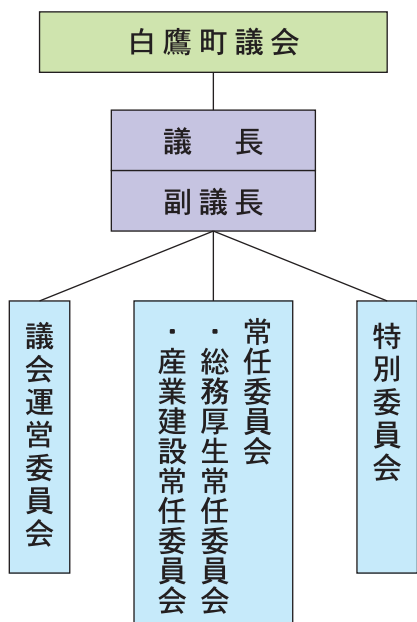
議案等を詳しく審査したり、専門的に調査したりするために、部門別に設置された委員会です。常設であり、白鷹町議会では「総務厚生常任委員会」と「産業建設常任委員会」の2つがあります。

◇総務厚生常任委員会
具体的には、総合計画の策定、町税の賦課

徴収、町民相談、広報活動、地域づくり、防災対策、高齢者・児童・障がい児者などの福祉、国民健康保険、検診、小中学校の運営、生涯学習・スポーツの振興、文化財保護、町立病院の運営などについて審査します。

◇産業建設常任委員会
具体的には、農林・畜産業の振興、商工・観光事業の振興、町整備の推進、道路や河川の建設・補修、公園の管理、上下水道の維持補修などについて審査します。

※委員構成は、令和元年7月発行の議会だより（143号）をご参照下さい。



表紙

未来にはばたけ小さな翼

愛真こども園卒園式

新型コロナウイルスの影響のため取材に行けず、今回は写真をご提供いただきました。

小さな翼を大きく広げて、希望溢れる未来に羽ばたいてもらいたいものです。



◆ご意見から

- ・表紙が、毎号、町内の写真なのが良い。
- ・町の施策や予算についてわかる。
- ・議会のしくみが詳しく載っており、議会を見学に行きたいと思った。
- ・税金のムダ使い。発行をやめた方がよい。
- ・一般質問のコーナーも、冒頭にテーマ、主張があるとわかり易い。
- ・紙面は白黒で十分と思う。



ユニフォーム着てみました。皆さん一緒にやりましょう。



齋藤 恵子 さん(小山沢地区)

ボランティア

白鷹の未来を彩る

… 尊敬の念を持って接します …

白鷹傾聴ボランティア「ひまわり」の齋藤恵子さんに、ご自宅でお話を伺いました。

活動はいつから

平成23年に講座を受講し、翌24年から活動を始めました。受講者は30人程でしたが、現在は1期生8人、2期生8人です。

どんな活動ですか

白光園や一人暮らしのお宅に伺って、お話を聴きます。

聞いてください 一抜粋
(ラヴィング・イチ・アザーの言葉)

「私の話を聞いてください」と頼むと、あなたは助言を始めます。私はそんなことは望んではいないのです。
..... 中略

だからあなたも、どうか黙って私の話を聞いてください。
話したかったら、私が話し終えるまで少しだけ待っていてください。
そうすれば、私は必ずあなたの話に耳を傾けます。
(傾聴ボランティア講座の教材から引用)

月1回から2回、30分から40分、相手の話をじっくりと聴きます。メンバーも訪問先の方も女性が多いです。

気を付けていることは

全てを肯定することです。結論や助言をしないようにお話を聴きし、尊敬の念を持って接することです。

初心を忘れないよう、ひと月置きに勉強会をしています。

続けられる理由は

夫の理解と協力に支えられて続けられています。大変に感謝しています。

最初は続けられる

が不安でしたが、無理をせず自分の時間や体調に合わせ、負担に感じないよう活動することを心がけています。

また、お一人お一人からその方の人生をお聴きするようで大変多くのことを学べます。

ちょっと一言は

社会福祉協議会が主催する講座を受講して、ぜひ一緒に活動してみませんか。

嬉しいことは

2期生が活躍し、将来に続いていくことが嬉しいです。3期、4期と続いてもらいたいものです。

議会へ望むこと

議員が地域のサロンに来て町の施策などを話してもらえば、議会が身近になるのではないのでしょうか。

取材を終えて

「話を聴くこと」と「話せる場所」の大切さを改めて感じさせられました。

(笹原)



編集後記



例年にならない暖冬少雪の冬も終わりを告げ、3月議会において「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」を柱に据えた、令和2年度の予算が議決されました。まちづくり複合施設もグランドオープンし、本来なら心躍る春の到来時期にもかかわらず、新型コロナウイルスの影響で我々が経験したことはない生活状況になっています。

そんな中、今心がけるべきことは、誤情報やデマに振り回されず「正しく恐れる」ことなのかもしれません。外での活動も制限せざるを得ない昨今、一日も早い終息を願って止みません。

(竹田)

広報委員

- 委員長 笹原 俊一
- 副委員長・編集長 横山 和浩
- 委員 丸川 雅春
- 委員 竹田 雅彦
- 委員 金田 悟
- 印刷・(有)梅津印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。